

# NWM in 福岡

## テーマ：つながり

作成：第44回ネットワークミーティングin福岡 実行委員会

発行：カトリック青年連絡協議会



### ネットワークミーティングとは

カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今かかえている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

### カトリック青年連絡協議会

「カトリック青年連絡協議会」は、情報交換と交流を通じ、教区を超えてカトリック青年の活動を支援し、促進することを目的とし、以下のことに取り組んでいます。

○全国の青年の活動情報を知りたい!

青年・司祭・修道者とのネットワークを生かし、全国各地の青年活動の情報を入手できます。

○全国の青年会とつながり、話がしたい! ネットワークミーティングには、そんな思いの青年が集まっています。私達はこれを後援し、サポートしています。

○さらなるつながりの実現へ・・・年2回開催される運営委員会では、全国の青年のつながりが実現するために私達ができることを話し合っています。

詳しくは、カトリック青年連絡協議会ホームページをご覧ください。



←カトリック青年連絡協議会ホームページ



ネットワークミーティングin福岡 概要

日程：2023年2月11日(土) 12日(日)

開場：福岡カトリック神学院

テーマ：つながり

参加者：46名



# ようこそ、ネットワークミーティングin福岡へ！

第44回ネットワークミーティング開催地として福岡で行うことが出来たことに心から感謝申し上げます。

今回のテーマは「つながり」です。

昨今のコロナ感染症の流行により私たちの生活は大きく変わりました。行動制限の時期があったり、青年活動なども満足に行うことが出来なかったことを皆さんも経験されているのではないかと思います。

従来の合宿形式ではなく感染症対策として各自宿泊先を用意して頂きました。参加者の方や我々にとっても初めてのことで戸惑う部分もあったと思います。ですが、これからの新しい可能性を提案する事が出来たのではないかと思います。また私たちの前にNWMを準備されていた他教区の方々の苦悩も聞いておりましたので、強い覚悟を持って今まで準備してきました。

それではここからは当日の様子や、参加者の方、スタッフの声などご紹介します！  
どうぞ最後までご覧下さい！

第44回ネットワークミーティングin福岡 代表 岩崎聖司

## スタッフ



↑準備中の様子



# 当日の様子 1日目 パート1

## ☆開会式 13:00～

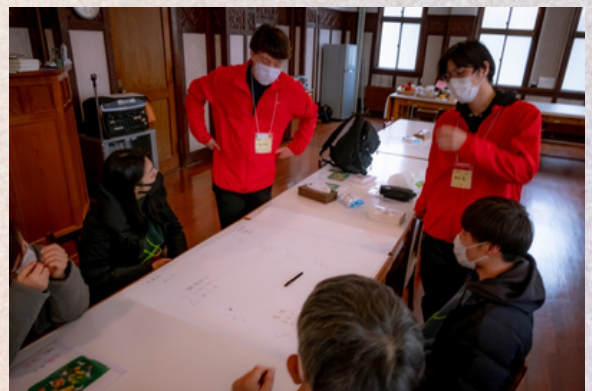
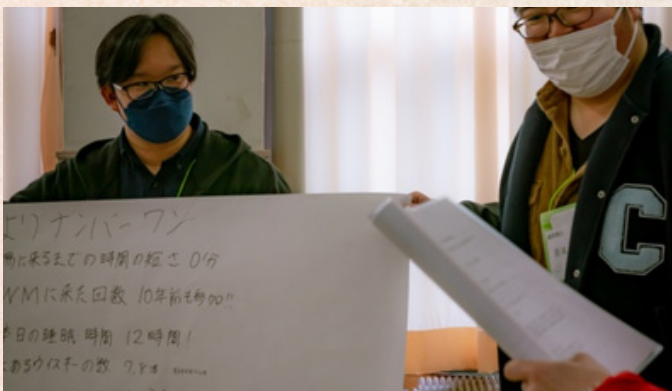


↑代表挨拶



↑協議会代表より

## ☆アイスブレイキング 13:15～



↑共通点グランドスラム・オンリーワンよりナンバーワン

### ●共通点グランドスラム

グループメンバーで情報を出し合いながら、「共通点」を探し、見つかったものから紙に書き出します。

### ●オンリーワンよりナンバーワン

グループメンバーで「得意なこと」「自信のあること」を出し合い、全員がナンバーワンになれることを探します。

詳しいルールはネット検索すると載っているので皆さんもぜひやってみてください！



# 当日の様子 1日目 パート2

## ☆プログラム① レクリエーション(すごろく)



↑所属教会自慢やジェスチャーゲーム、ボウリングで盛り上がっていました！

## ☆プログラム② 分かち合い 15:45～



↑「つながり」についてぶどうの木のとえを用い、アベイヤ司教様の講話を聞き、各班で分かち合いを行いました。

NEXT >>



## 当日の様子 1日目 パート3

### ☆インフォメーション 17:15～



↑各教区での活動内容や今年行われるWYDのアナウンスがありました。各教区さまざまな特色があり、これからの活動にも注目です！

### ☆夕の祈り(テゼ) 18:15～



皆が同じ空間に集い、ともに祈る時間を過ごすことが出来ました。

### 19:15 解散

※例年では交流会等が行われますが、感染症対策の為行なっておりません。



## 当日の様子 2日目

### ☆9:00 2日目スタート



各宿泊場所から早朝に集まって頂き、本当にありがとうございます！

### ☆プログラム③ 制作 9:30～



↑今回のテーマ「つながり」にちなみ、つながりの輪をつくるという意味を込めてミニロザリオを制作しました。



前日の分かち合いでは「ぶどうの木のとえ」を用いました。その際に印象に残った言葉などをそれぞれぶどうの実に見立てた紙に書いてもらいました。ひとりひとりの想いがぶどうの房となり、それらが一つに集うことでぶどうの木を実らせることが出来ました。

NEXT >>



# 当日の様子 2日目 パート2

☆ミサ 11:00～



皆が同じ場所に集い、直接会話をすることやともに祈ること、ミサを捧げることができる喜びを改めて感じることが出来ました。

## 閉会・解散





# スタッフの声

1日目の終わりのテゼの歌を用いた祈りを担当しました。

私は2020年の初めにフランスのテゼから帰国したのですが、その後3年間コロナで集いや歌が制限されてきたので、数十人で歌声を重ねて祈るのはとても久しぶりでした。聖堂に響くみんなの歌声や、歌と歌の間の朗読や沈黙に心が満たされていくのを感じました。

私が初めてテゼの祈りについて知ったのは、東日本大震災後の被災地ボランティアベースでした。

米川（現南三陸）ベースでは当時、活動前にテゼの歌でお祈りしていました。その時出会った人たちと祈った経験は忘れられません。私はテゼの歌や復興支援を通して、世代や宗教、国籍などが違う人とも一つに祈ったり、困っている人のために模索して共に働くことはできるのだと知りました。

今回、祈り中に全ての参加者が母国語で朗読を聞くことができるようにしました。違う言語で語られる同じ福音に、みんなで耳を傾けました。私たちそれぞれの場所に、色んなルーツを持つ人がいます。NWMの出会いに勇気づけられた私たち青年が、これからNWMのような繋がりを広げ、心を開いて違いを越え、一歩ずつ平和のために仲間として歩んでいけたらと思います。

祈り係 井上 友里子



“つながり”というテーマにちなんでプログラム②は分かち合いを行いました。

自分が神様や誰か、何かと繋がっていると感じたときにどんな気持ちだったのかを班の中で分かち合うことで、今までの自分を振り返ると同時に新しい自分の発見が出来たのではないかと思います。自分の思いをブドウの木に見立てた模造紙にブドウの房を作り“つながり”を可視化し、参加者と思いを共有することができました。

プログラム③は“つながり”をイメージできる具体的な方法はないかと話し合いを重ねました。ロザリオは繋がった珠を数えて祈る用具、そのロザリオをみんなで作成したら“つながり”も感じられるのではないかといった想いからロザリオ作成を行いました。実際にロザリオ作りは細かい作業であったので、紐が切れたり、珠が飛んでいたりハプニングも発生していましたが、ミサ後にみんなで腕にロザリオを着けて司教様に祝福していただいた姿は今回のNWMに参加したという“つながり”を感じることができたのではないかと思います。

久しぶりに会ったスタッフ、参加者の笑顔が目の前で見れたNWMはとても有意義なものとなりました。

分かち合い、ロザリオ制作 中島 愛



私たちレクリエーション係は、少数精鋭でアイスブレイキングとレクリエーションの2つのプログラムを担当しました。アイスブレイキングでは「共通点グランドスラム」と「オンリーワンよりナンバーワン」という2つのゲームを行い、レクリエーションでは「すごろく」を行いました。

どちらのプログラムとも、「過去に行ったことないもの」、そして「班のメンバーをより深く知ることができるもの」をコンセプトに選定しました。本番まで試行錯誤を繰り返しながら準備し、中々メンバーが揃わず進捗が滞ったこともありましたが係外のスタッフの助けもあり、何とか形にできたと思います。

本番では、大変好評をいただきほっと胸をなでおろしました。個人的には係のメンバーが少ない中、なりゆきで係を回す役割を担いましたが、何より周りのみんなの支えがあって成功に結びつけたものと思っています。準備から本番までを通して、スタッフとのつながりはより強いものになったと思いますし、参加された方々においてもこれまで会った人とのつながりや新しいつながりをこのプログラムを通して感じていただけていましたら幸いです。

レクリエーション係 北川健悟

## 担当司祭より

「皆さんを福岡の地にお迎えしたい」。コロナ禍の為、長期間対面でのNWMの開催が延期とならざるを得ない状況下であった為、私たちの一つの目標として「対面開催」がありました。画面を通してではなく、目の前にいる「あなた」と話したい。この思いで準備を進めてきました。

『つながり』というテーマを掲げましたが、福岡教区の青年スタッフも含め、皆さんとともに「人と人」「教会と私」「神と私」など、自分を取り囲む多くの繋がりについて振り返るきっかけになったのであれば幸いです。マスク越しであっても、皆さんの笑顔を見ることが出来たのは、私たちスタッフにとって何よりの喜びでした。この出会いの喜びをそれぞれの教会で、生活の場で拡げていきましょう。

福岡教区 司祭 十時伸治



## 参加者の皆さんからのメッセージ

初めての参加でしたがレクリエーションを通して自然と仲良くなることができました。それぞれの教区の活動や雰囲気も知れて楽しかったです。お世話になった神父様や神学生に久しぶりに会えたり、新たに同年代の友達ができたりと繋がりを感じる2日間でした！

福岡教区 矢野涼子さん



NWMに今回初めて参加させていただき、九州から北海道まで本当に日本全国からカトリックの青年が集まっていることに感動しました。その活動の中でも、分かち合いの時間で同じくらいの年齢の人と神様のことについてお話できたことは本当に嬉しかったです。神様によって素敵な人たちとつながることができました。これからまた青年の集まりに参加するのが楽しみです。

福岡教区 大水あかりさん



この温かくて居心地の良い空間がとても懐かしい、終始そのように感じられた2日間でした。3年ぶりの対面でのNWM、久々の再会も初めましても、みんなの心からの喜びにあふれた場となっていたように思います。集うことのできなかつた間、それぞれが求め続けていた「つながり」というシンプルなテーマが、プログラムの一つひとつでの参加者の交わりや気づきを深めてくれました。開催できた嬉しさに満ちた明るく楽しいスタッフの皆さんのおもてなしが印象的で、全員の思いの詰まったぶどうの木完成から、この場が神さまからのプレゼントであることを強く感じました。本当にありがとうございました！

横浜教区 林純一さん



待ちに待った福岡でのNWM、待ちに待った対面でのNWM、参加できて本当に良かったです。雪解けが始まったようなワクワクのなか、「繋がり」というテーマで分かち合い、参加者それぞれがこのNWMに辿り着いた経緯などを聞き、改めてNWMという場の大切さを実感しました。リスタートに相応しいテーマで、「自分とその周り」「今までとこれから」をじっくりと考えられる温かい時間を過ごすことができました。スタッフの皆様、素晴らしい時間をありがとうございました。

札幌教区 武川こむぎさん